



2023年12月25日

各位

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小栗 勝男
(コード番号3167 東証プライム市場)

GXの推進に向けた低・脱炭素化への取り組み

～シェアサイクル事業における「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」の展開～

当社の連結子会社でグループのCATV事業を担うTOKAIケーブルネットワークが、運営する静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』のステーション（駐輪場所）を、「発電+蓄電+サイネージ」を実装した「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」へとリニューアルしたことを、別添の通りお知らせいたします。

現在当社グループは、2023年5月に公表した「中期経営計画2025」に沿って事業を推進しております。今般の再エネステーションの展開は、当計画の基軸となる成長戦略の一つ「低・脱炭素化への取り組み」を具現化するもので、自らの事業活動におけるGX（グリーントランスフォーメーション）に繋がるとともに、災害時に当ステーションを有効利用することで、地域社会への貢献にも寄与します。

引き続き、こうした取り組みを通じて、社会とグループの持続可能な成長を実現していくとともに、自らの企業価値の向上を目指してまいります。

以上



2023年12月25日

各位

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク

静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』 静岡駅北口駅前広場ステーションのリニューアルについて

～ 発電+蓄電+サイネージを実装した「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」へ ～

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク(本社:静岡県沼津市、代表取締役社長:鈴木 光速、以下「当社」)は、静岡駅北口駅前広場にある静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』のステーション(駐輪場所)を、「発電+蓄電+サイネージ」を実装した「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」へとリニューアルいたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』は、サービス提供開始から多くのご利用をいただいております。2023年6月で3周年を迎えました。当初、自転車数:94台、ステーション数:45ヶ所でサービスを開始いたしましたが、現在では、自転車数:600台(サービス開始当初の6.4倍)、ステーション数:207ヶ所(同4.6倍)まで規模を拡大することができ、静岡市における“新しい公共交通機関”としてご認知頂けるようになりました。

この度リニューアルいたしました静岡駅北口駅前広場のステーションは、“発電”(最大出力 3.7kW の最新型太陽光発電システム)と“蓄電”(テスラ社製 13.5kWh 蓄電池)と“サイネージ”(PDC 社提供の CMS 搭載約 70 インチ 2 面 LED サイネージ)を実装します。

当ステーションで発電した電力は、PULCLE の車載電池への充電とサイネージの稼働に利用するとともに、余剰電力は蓄電池に備蓄し夜間の電力源として利用します。さらには、災害時に充電ポートを解放し、防災拠点としての活用も念頭に設計されております。

大型サイネージモニターでは、太陽光パネルによる発電状態の表示など、市民の皆様に向けた環境意識の啓発を行うとともに、シティプロモーション映像や行政情報の配信、及び災害時の情報発信に利用することで、「新しい市政広報メディア」としての役割を担うべく検証をすすめてまいります。

TOKAI グループでは、『新中期経営計画 2025』(2023年5月9日公表)にて公表の通り、低・脱炭素化への取り組みを推進しております。

当社においても、環境負荷の低い PULCLE の普及促進により CO2 の削減に貢献するとともに、今回のステーションへの太陽光発電導入により、GX(グリーントランスフォーメーション)を一層推進してまいります。更に、今後は、“地域と一体となった”低・脱炭素化推進の取り組みを具体化していくため、静岡市と協働し、本ステーションを活用した各種検証を進めてまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク 次世代成長戦略本部 企画部

TEL:054-253-2400(受付 月～金曜 9:00 ～ 17:45)

<https://www.thn.ne.jp>

【参考】今後の展望など

■ 再生電力を活用した新しい都市インフラ(モビリティ、防災)サービスの形を展望

再生導入の着眼点



モビリティ充電

再生可能エネルギーをモビリティに充電する循環モデルの実現



防災拠点活用

災害時の被災情報の発信(サイネージ)や緊急電源の供給(蓄電池)など『防災拠点』として活用



地域課題

地域課題を通して持続可能な社会を実現していく

将来展望

モビリティインフラ

EV
カーシェア



シェアサイクル



再生可能エネルギー
を電力として活用

防災・情報発信
インフラ



蓄電池+
電源供給



企業PR
行政広報
災害情報

新しい都市インフラサービスの形を展望

【参考】静岡駅北口駅前広場ステーションへの設置機器について



- 太陽光発電ガラス : AGC 建材一体型太陽光発電ガラス「サンジュール®」2枚のガラスの間に発電セルを挟み込みガラスの採光性と耐久性を合わせもつ意匠性の高い建材一体型太陽光発電ガラス システム最大出力 3.7kW
- 蓄電池 : テスラ「パワーウォール」 テスラ電気自動車のバッテリー技術とデザイン性の高い商品 蓄電池容量:13.5kWh 静岡県内初のテスラ Powerwall 認定販売施工会社「(株)RST」にて施工
- デジタルサイネージ : LEDビジョン ピクセルピッチ:2.97mm、輝度:4000cd/m²、サイズ:W1500mm×H750mm (片面 2面)
- 非接触型給電 : スマートフォン向けワイヤレス充電器 3箇所
- 給電コンセント : 非常時に開放する100Vコンセント 4個(8口)